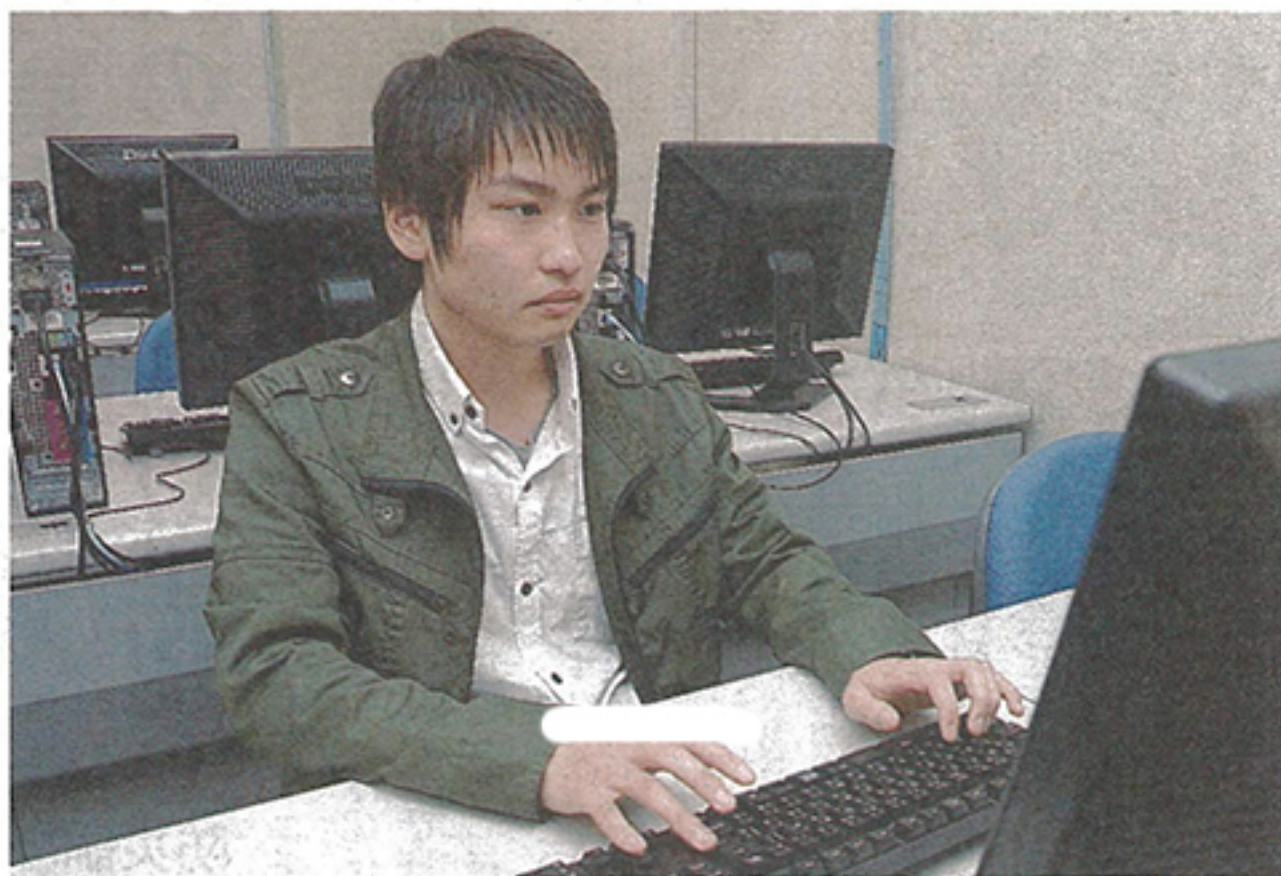


辰巳さん(弘大2年)日本代表に



エクセル「1位目指したい」 本県初

弘前大学人文学部2年の辰巳真広さん(19)が、パソコン技術の国際コンテスト「マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト(MOS)世界学生大会」のエクセル(表計算ソフト)部門日本代表に本県から初めて選ばれた。7月31日～8月3日に米国で開かれる決勝戦に出場する。辰巳さんは「世界大会出場はなかなかないチャンス。1位を目指して頑張りたい」と意気込んでいる。(大友麻紗子)

MOSは、エクセル、ワード、パワーポイントの技術を証明する資格。世界学生大会の代表を選出する日本大会には全国から延べ約4万5千人が参加し、大学・短大、専門学校、高校に分かれて資格試験の点数と解答の速さを競った。

3月に資格取得のためMOS試験のエクセル部門を受験した辰巳さん
.....
MOS世界学生大会エクセル部門の日本代表に選ばれた弘大の辰巳さん

さんは、千点満点を獲得。試験官の薦めで日本大会にエントリーしたところ、大学・短大生で1位の金賞に輝いた。電話面接や小論文などの審査を経て、上位入賞者の中からエクセル部門で唯一の日本代表に決まった。

辰巳さんは三沢市出身。小学生の頃からパソコンを学び、三沢商業高校在学中には情報処理検定1級(ビジネス情報部門)を取得。全国高校情報処理競技大会で団体準優勝、個人3位の実績を持つ。「エクセルは論理的思考が必要。すべてがカチッとハマり、文書が完成すると達成感がある。決勝戦に向けてしっかり準備したい」と笑顔を見せた。